

概要	○ 令和6年12月28日（土）、茨城県結城郡八千代町に所在する採卵鶏の農場（約108万羽）において鳥インフルエンザの疑いが発生し、翌29日（日）、検査の結果、鳥インフルエンザ陽性が確定。 ○ 29日（日）1205、陸上自衛隊施設学校長（勝田・茨城）は、茨城県知事から鶏の殺処分等の支援に係る災害派遣要請を受理。 ○ 同日1758より、陸上自衛隊第1施設団（古河・茨城）を主力とする隊員が殺処分等に係る支援を24時間態勢で実施。 ○ 1日（水）1205、自衛隊実施分の殺処分支援について完了し、じ後の防疫措置は自治体のみで可能となったことから、 陸上自衛隊施設学校長は茨城県知事からの災害派遣撤収要請を受け、活動を終了。
活動部隊	○ 陸上自衛隊：第1施設団（古河・茨城）、施設学校（勝田・茨城）、武器学校（土浦・茨城）
活動態勢	○ 隊員約200名がローテーションにより、24時間態勢で実施。 ○ 約108万羽のうち、自衛隊は発生鶏舎及び隣接鶏舎の約32万羽を担当。
活動内容	○ 鳥インフルエンザが発生した養鶏場における殺処分支援 等

位置関係

【凡 例】

● : 活動地域

● : 駐屯地

活動写真

活動準備

殺処分後のコンテナへの詰め込み作業